

# 平成28年度事業報告

## I 概況

平成28年度の日本経済は、個人消費や民間設備投資等の内需の伸びは力強さを欠いたものの、アベノミクスの取組みの下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続きました。

一方、本道経済は、自然災害による1次産業・食品製造業への影響などによる生産活動の停滞など、一部に弱い動きが見られたものの、北海道新幹線の開業や航空会社の就航路線の拡充などを背景に国内外来道者数が堅調に推移し、観光が好調さを増したほか、雇用環境の改善が続くなど、全体としては緩やかに回復しました。

しかしながら、中小企業・小規模事業者においては、人口の減少による需要の減退、これに伴う競争の激化や人手不足、後継者の不在などの経営課題を抱えており、その取り巻く経営環境は総じて厳しい状況にあります。

当センターは、こうした状況下にある道内中小企業・小規模事業者の育成、振興を図るため、経営及び特許や金融などの専門の相談窓口、北海道よろず支援拠点、北海道6次産業化サポートセンターからなる総合相談窓口を開設し対応するとともに、専門家の派遣などにより中小企業・小規模事業者の様々な経営課題の解決の支援に努めました。

また、新製品・新技術の開発等への助成による道内中小企業・小規模事業者の競争力の強化を図るとともに、道内外発注企業との商談会等の開催による販路拡大、設備貸与制度による小規模事業者等の設備導入やプロフェッショナル人材の活用促進などに取り組みました。

このほか、今年度は新たに女性・若者起業家の育成や円滑な事業承継を支援するためのネットワークの整備等に取り組むなど、国及び道の関連施策の積極的な導入により、当センターの支援機能の拡充強化を図り、中小企業・小規模事業者へのきめ細やかな支援に努めました。

## II 理事会・評議員会の開催状況

### 1 理事会

- 第1回 開催日 平成28年5月27日  
議案 第1号 平成27年度事業報告について  
第2号 平成27年度決算報告について  
第3号 運営強化資産取扱規程について  
第4号 評議員会の開催について
- 第2回 開催日 平成28年6月15日(みなし決議)  
議案 第1号 常務理事の選定について
- 第3回 開催日 平成28年11月24日  
議案 第1号 平成28年度事業計画及び予算の変更について  
報告 第1号 平成28年度事業実施状況について
- 第4回 開催日 平成29年3月8日  
議案 第1号 平成28年度事業計画及び収支予算の変更について  
議案 第2号 平成29年度事業計画について  
議案 第3号 平成29年度収支予算について  
議案 第4号 平成29年度借入金最高限度額について  
議案 第5号 平成29年度会計監査人の報酬について  
議案 第6号 評議員会の開催について

### 2 評議員会

- 第1回 開催日 平成28年4月18日(みなし決議)  
(臨時) 議案 第1号 評議員の選任について  
第2号 理事の選任について
- 定時 開催日 平成28年6月14日  
議案 第1号 平成27年度事業報告について  
第2号 平成27年度決算報告について  
第3号 理事の選任について  
第4号 評議員の選任について  
報告 第1号 運営強化資産取扱規程について
- 第3回 開催日 平成28年7月6日(みなし決議)  
(臨時) 議案 第1号 評議員の選任について  
第2号 理事の選任について
- 第4回 開催日 平成29年3月21日  
議案 第1号 平成28年度事業計画及び収支予算の変更について  
議案 第2号 平成29年度事業計画について  
議案 第3号 平成29年度収支予算について  
議案 第4号 平成29年度理事の報酬等の額について  
報告 第1号 平成29年度借入金最高限度額について

### Ⅲ 事業の概要

#### 1 強みを生かした重点的取組

総合相談窓口の開設等による相談体制の整備や地域の支援体制の強化を図り、中小企業・小規模事業者が抱える経営課題の解決に努めました。

##### (1) 経営アドバイスの実施

中小企業・小規模事業者が抱える経営課題の解決を支援するため、総合相談窓口の開設等による相談体制の強化、及び専門家派遣や支援制度の情報提供等に努めました。

##### ①総合コーディネーター事業

中小企業・小規模事業者の様々な相談に対応するため、経営及び専門（特許・金融・取引・会社法等）の相談窓口や北海道よろず支援拠点、北海道6次産業化サポートセンターからなる総合相談窓口を開設し、10,799件の相談に応じました。

また、新製品の開発技術や販売戦略に関する経営課題を抱える3社に対して専門家を現地に派遣し、課題解決に向けた支援を行いました。

##### ②中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点事業）

国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、専門的な相談対応を更に強化するため、新たに配置した弁護士、農商工連携の専門家等を含め、チーフコーディネーター1名、コーディネーター14名体制の北海道よろず支援拠点（札幌本部、6支部に地域拠点）を設置し、売上拡大や創業、経営改善など、延べ4,371件の相談に応じました。

また、よろず支援拠点の活用を促進を図るフォーラム及びセミナーを4回、地域の要望に応じてコーディネーター等を派遣する出前相談会を62回、それぞれ開催しました。

##### ③中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業（ミラサポ）

中小企業・小規模事業者が抱える高度・専門的な経営課題の解決支援のため、「ミラサポ」の利用により116社に対し、延べ255回の専門家派遣を行いました。

また、「北海道中小企業総合支援プラットフォーム」の構成機関や他の地域プラットフォームとの連携を強化するため、北海道よろず支援拠点と合同による地域連携フォーラムを開催しました。

##### ④設備導入等促進診断事業

北海道の中小企業高度化資金貸付事業の貸付条件変更に係る10件の診断を行いました。

また、貸付後の運営状況等に対する事後助言を1件行いました。

#### ⑤下請かけこみ寺事業

下請取引の適正化を促進するため、相談員が常駐する相談窓口を設置し、中小企業・小規模事業者が抱える取引上の悩みやトラブルなど65件の相談に対応するとともに、函館市及び旭川市において移動相談会を開催しました。

### (2) 地域支援の強化

よろずの全地域拠点のコーディネーターの専任化など、地域の中小企業・小規模事業者への支援体制を強化するとともに、地域の支援機関等と協働して新産業創出に向けたハンズオン支援等に取り組みました。

#### ①地域支援体制の強化

新たに日胆支部のよろず地域拠点に専任コーディネーターを配置し、全てのよろず地域拠点の専任体制を確立するなど、地域における支援体制の強化を図りました。

#### ②北海道中小企業応援ファンド事業〔地域資源活用型ハンズオン支援事業〕

地域資源を活用した新産業の創出や、北海道中小企業応援ファンド事業利用企業が取組む新製品開発等の事業化を促進するため、地域の支援機関や専門家と支援チームを編成し、8件のハンズオン支援を行いました。

#### ③被災中小企業施設・設備整備支援貸付事業

東日本大震災による被災中小企業施設・設備の整備を支援するため、資金貸付制度の相談対応及び既存貸付金の管理を行いました。

### (3) 融資あっせんの実施

北海道中小企業総合振興資金の融資あっせんを6件、62,000千円行いました。

### (4) 道への事業提案

「北のふるさと事業承継支援ファンド」の組成等について検討する北海道主催のワーキング検討会に参画し、ファンドのスキームや投資後の経営支援などについての意見交換や提案等を行いました。

また、道が検討を進めていた事業承継などの事業の計画内容等に関する協議に参加し、提案等を行いました。

## 2 改善・見直しによる積極的な取組

事業の進捗等を定期的に把握・評価し、その改善・見直しに取組むとともに、よろず支援拠点等と連携し、センター支援企業に対するフォローアップを行いました。

### (1) 事業のPDCA徹底

経済社会環境の変化や中小企業・小規模事業者の支援ニーズに的確に対応した事業の円滑な実施とその実効性を確保するため、四半期毎の事業の進捗や目標の達成状況などを把握・評価するとともに、事業の推進管理の徹底を図りました。

また、その結果を踏まえ、中小企業応援ファンド事業の応募者増加を図るための長期の募集期間の設定、北洋6次産業化応援ファンドの既出資先の経営モニタリング等の強化のための経営アドバイザーの配置など、必要に応じて見直しや改善を行うとともに、次年度事業への反映に努めました。

### (2) ワンストップ・コーディネートの実践

中小企業応援ファンド事業などのセンターの支援制度を利用した企業等の制度利用後の効果や経営状況等を把握するため、組織横断的に、また、よろず支援拠点等とも連携して訪問面談等（延べ223件）を行うなど、継続的なフォローアップに努めました。

### (3) 会員へのサービス提供

会員に対し、センター事業はもとより、国・道等の中小企業関連施策情報等を提供するとともに、センター主催の商談会等開催事業の参加料免除等のサービスを実施しました。

また、小規模企業者等設備貸与事業の利子補給制度により、17社に対し利子補給を決定しました。

これらの取組みなどにより、新たに20企業が会員として加入した一方、退会が7会員あり、平成29年3月末現在の会員数は、前年度に比べて13会員増加し、371会員となりました。

## 3 弱みを克服しての段階的な取組

センターの支援機能及びその経営基盤の強化を図るため、自主事業等の拡大や職員のスキルアップ、情報発信に取組みました。

### (1) 自主事業等の拡大

中小企業・小規模事業者の事業性評価についての国の評価手法（ローカルベンチマーク）及び独自の評価手法を導入している県や金融機関等の取組状況などについて調査を行ったほか、センターの情報インフラの今後の在り方について検討を行いました。

また、よろず支援拠点事業（国受託事業）や事業承継サポートネットワーク形成事業（道委託事業）、石狩管内の商工会からの消費動向実態調査事業など、国・道などから11事業を受託し、相談をはじめとした各種支援機能を強化するとともに、経営基盤強化を図りました。

## （2）計画的な人材育成

職員のコンサルティング能力等の向上を図るため、外部講師を招き、道内の開業・休廃業の動向についての研修会を開催するとともに、IM研修や中小企業大学の小規模企業支援能力向上などの研修に職員5名を派遣しました。

## （3）情報発信の強化

中小企業・小規模事業者の経営等に必要な情報を提供するため、インターネットを利用してメルマガの配信(48回)、トピック情報掲載(174件)、イベント情報(583件)の提供などを行い、そのアクセス数は87,228件となりました。

また、総合支援事典や支援制度ガイドブック、センターの支援事例とその支援事業の紹介を内容とした「支援事業活用事例集」などを発行するとともに、道内中小企業の経営状況及び今後の見通し等を把握するため業況調査を実施し、調査結果をホームページで公開しました。

## 4 現状維持・代替策検討の取組（ポスト応援ファンド事業のあり方検討）

平成29年度で事業が終了する北海道中小企業応援ファンド事業の今後のあり方検討に向け、（公財）全国中小企業取引振興協会や北海道を通じ、後継応援ファンド事業に向けた中小企業庁の検討状況について情報収集を行いました。

また、北海道商工業振興審議会の「北海道産業振興条例あり方検討部会」にオブザーバーとして出席し、見直し検討に係る情報収集に努めるとともに、北海道中小企業応援ファンド支援協議会においてポスト応援ファンド事業のあり方について意見交換を行いました。

## 5 道の重点分野・重点事業への取組

### （1）道の重点分野への取組

ものづくり産業や食品産業等の重点分野の産業育成、振興を図るため、道内中小企業・小規模事業者等の新製品・新技術の開発などの取組みを支援しました。

#### ①北海道中小企業応援ファンド事業 [公募事業]

北海道や中小企業基盤整備機構、道内の金融機関などで組成したファンドの運用益を基に、新たな産業の創出や新分野・新市場への進出等の取組

みを支援するため、市場対応型製品開発支援事業や地域資源活用型事業化実現支援事業などにより、40件、98,161千円の助成金交付決定を行いました。

## ② 中小企業競争力強化促進事業

北海道産業振興条例に基づき、新分野・新市場進出等を目指した商品・サービスの開発や市場開拓等の取組みを支援するため、マーケティング支援事業や産学連携等研究開発支援事業などにより、19件、20,736千円の補助金を交付しました。

## (2) 重点事業

創業及び6次産業化等を促進するため、各種相談に対する助言や事業化等の取組みを支援しました。

### ① 創業

創業等を促進するため、起業・創業者に対するフォローアップや「北大ビジネス・スプリング」の入居者に対する経営等の助言などを行いました。

#### ア 地域需要創造型等起業・創業促進事業

国の地域需要創造型等起業・創業促進事業で支援した創業者（補助事業者）から、事業化状況報告書を徴求し、創業後の経営状況等の把握に努めました。

#### イ 北大連携型起業家育成施設入居企業支援事業

「北大ビジネス・スプリング」にインキュベーションマネージャーとしてセンター職員1名を派遣し、入居者に対して経営相談の対応や各種支援情報等の提供を行ったほか、入居者等の課題に対応したセミナーや人的ネットワークの構築を目的とした交流会の企画運営、入居見込企業に対するPR活動などに参画しました。

#### ウ 北海道中小企業応援ファンド事業 [地域資源活用型ハズレ支援事業]

1-(2)-②に記載

#### エ 地域応援！女性・若者起業家育成支援事業

道南（渡島・檜山管内）及び十勝（十勝管内）の2圏域において、女性や若者の起業に向けた意欲喚起のためのセミナーや相談会のほか、ビジネスプランの作成など起業に必要な基礎的知識の習得などを内容とした実践起業塾を開催しました。

また、大学生等の起業家教育のためのアントレプレナーシップ講座を札幌市と函館市で開催したほか、地域の起業家をサポートするためのネットワークの整備や地域メンターの登録を行いました。

## ② 6次産業化

6次産業化を促進するため、農林漁業者等への相談対応及び計画作成等の支援や北洋6次産業化応援ファンドの管理・運営を行いました。

### ア 6次産業化支援体制整備事業

「北海道6次産業化サポートセンター」を開設し、農林漁業者等からの総合化事業計画の作成など、延べ1,375件の相談に対応するとともに、6次産業化の担い手の育成を図るため、座学・インターンシップを内容とした研修会を開催しました。

### イ 北洋6次産業化応援ファンド事業

道内の6次産業化事業者1社に対し、25,000千円の出資を行うとともに、既資本提供先に対し、自社生産ワインの品質評価を行うための専門家による試飲会の開催等の支援を行いました。

また、北洋銀行や6次産業化サポートセンターと連携し、出資案件の発掘を行うとともに、専門員の配置により既資本提供先の経営モニタリングを強化しました。

## ③ 海外事業展開

道内中小企業・小規模事業者の外国特許出願等を支援するため、国の中小企業等外国出願支援事業を活用し、23社（特許7件、商標24件）に対し、10,159千円の補助金を交付しました。

また、よろず支援拠点等と連携し海外への販路拡大に関する相談対応のほか、海外展示会への出展費用の助成など、海外展開への取組みを支援しました。

## 6 その他の事業

道内中小企業・小規模事業者の取引拡大を支援するため、道内外において商談会を開催するとともに、展示会への出展支援に取り組んだほか、小規模企業者等の設備導入の促進に努めました。

また、プロフェッショナル人材の活用を促す拠点をセンター内に開設したほか、小規模事業者等の円滑な事業承継を支援するためのネットワークの整備を図りました。

### (1) 中小企業経営資源強化対策事業〔取引拡大支援事業〕

道内中小企業・小規模事業者の受注機会を拡大するため、札幌市、函館市において道内外の発注企業との商談会を開催するとともに（商談件数348件、成立18件）、北見市の発注企業2社で現地商談会を開催しました（商談件数7件）。

また、首都圏での取引拡大を図るため、東京都内で商談会を開催し（商談



件数 87 件、成立 1 件)、あわせて工場見学会を埼玉県本庄市で行いました。

専門調査員を札幌に 2 名、首都圏に 2 名配置し、道内外の企業延べ 690 社を訪問して、受発注情報の収集と提供を行いました。(紹介件数 530 件、成立件数 38 件)

さらに、道内の地域食品産業の商品開発や取引拡大を支援するため、道内 6 地域(札幌市、旭川市、滝川市、名寄市、岩見沢市、帯広市)でビジネスマッチング会を開催しました。(参加企業 29 社)

このほか、道内食品産業の新商品・新技術等を道内外の企業へ P R するビジネスプラン発表会を開催し、発表企業のビジネスパートナーの発掘に努めました。(発表企業 4 社、参加者 24 名)

## (2) 北海道中小企業応援ファンド事業 [展示会等出展支援事業]

中小企業応援ファンド事業等を利用して開発された製品などの販路開拓を図るため、道内外の展示会(モノづくりマッチング JAPAN、新価値創造展、ビジネス EXPO、Foodex Japan)に展示ブースを確保し、P R の支援に努めました。(出展企業 14 社)

## (3) 小規模企業者等設備貸与事業

小規模企業者等の創業及び経営革新に必要な設備導入の促進を図るため、機械設備の割賦販売 26 件、267,835 千円、リースによる貸与 5 件、47,055 千円を決定しました。

## (4) プロフェッショナル人材センター運営事業

センター内に戦略マネージャー等 3 名を配置した「北海道プロフェッショナル人材センター」を開設し、マネジメントや販路拡大、生産性向上等に係る職務経験を持つ人材(プロフェッショナル人材)の活用による企業の経営革新の実現を促すためのセミナーを 4 地域(旭川市、室蘭市、札幌市、帯広市)で開催し、道内中小企業等の経営改善等への意欲を喚起するとともに、具体的な人材ニーズを民間人材ビジネス事業者に 82 件取り次ぎ、13 件の成約につなげました。

## (5) 事業承継サポートネットワーク形成事業

道北(上川・留萌・宗谷管内)、道南(渡島・檜山管内)、十勝(十勝管内)の 3 圏域において、小規模事業者等の円滑な事業承継を支援するため、市町村、商工団体、金融機関等の多様な支援機関の連携による事業承継サポートネットワークを整備するとともに、事業承継に関する支援人材の育成を目的とした研修を旭川市、函館市、帯広市において開催したほか、事業承継に関する課題等に対して高度専門的なアドバイスを行う弁護士、税理士等の専門人材の登録を行いました。

(6) 業界連携による自動車・食関連機械分野の製品開発モデル事業

道内のものづくり関係業界の連携強化と共同開発プロジェクトの推進を図るため、コーディネーターを2名配置し、業界団体間の情報共有のための会議や共同開発の先行事例などを発表するセミナーを開催しました。

また、自動車・食関連機械分野における共同開発プロジェクトの候補となり得るテーマを検討しました。

(7) 道東の水産加工業高度化支援事業

ロシア200海里水域におけるさけ・ます流し網漁業の禁止により、原料確保等が困難となっている根室・釧路地域の水産加工業者の事業の再構築や高度化を図るため、新商品開発等の新たな事業展開の取組意欲を喚起するセミナーと、その具体化に当たっての問題解決をアドバイスする個別相談会を、根室市及び釧路市で開催しました。

#### IV 支援事業の内容

事業項目	計画	実績	計画対比	摘要
<b>1 強みを生かした重点的取組</b>				
<b>(1) 経営アドバイスの実施</b>				
① 総合コーディネート事業 (中小企業経営資源強化対策事業)				
(ア) 総合相談窓口				
総合相談	10,000 件	10,799 件	799 件	札幌本部、道南・十勝・釧根支部 道北・オホーツク・日胆支部 派遣先企業数3社
(イ) 専門家派遣事業	9 日	8 日	-1 日	
② 中小企業・小規模事業者ワンストップ 総合支援事業(よろず支援拠点事業)				
(ア) 相談対応	4,000 件	4,371 件	371 件	札幌本部、道南・十勝・釧根支部 道北・オホーツク・日胆支部 セミナー4回、出前相談会62回
(イ) 課題解決	2,200 件	1,563 件	-637 件	
(ウ) セミナー・相談会	44 件	66 件	22 件	
③ 中小企業・小規模事業者 ビジネス創造等支援事業(ミラサポ) 専門家派遣事業	160 件	116 件	-44 件	
④ 設備導入等促進診断事業				
ア 計画診断・運営診断・事後助言				
(ア) 集団化	4 件	4 件	0 件	
(イ) 集積区域整備	4 件	3 件	-1 件	
(ウ) 施設集約化	3 件	3 件	0 件	
(エ) 共同施設	1 件	1 件	0 件	
⑤ 下請かけこみ寺事業				
相談窓口開設	145 日	147 日	2 日	函館市、旭川市
移動相談会開催	2 地域	2 地域		
<b>(2) 地域支援の強化</b>				
② 北海道中小企業応援ファンド事業 [地域資源活用型ハズオン支援事業]	14 件	8 件	-6 件	
③ 被災中小企業施設 ・設備整備支援事業				
事業規模(貸付額)	207,876 千円	0 千円	-207,876 千円	
貸付件数	32 件	0 件	-32 件	
<b>5 道の重点分野・重点事業への取組</b>				
<b>(1) 道の重点分野への取組</b>				
① 北海道中小企業応援ファンド事業				
ア 中小企業競争力強化促進事業				
(a) アドバイザー等招へい支援事業				
事業規模(助成額)	18,000 千円	4,878 千円	-13,122 千円	助成率:1/2以内、助成限度額:2,000千円
助成件数	9 件	5 件	-4 件	
(b) 市場対応型製品開発支援事業				
事業規模(助成額)	55,000 千円	68,510 千円	13,510 千円	助成率:2/3以内(調査1/2以内)、助成限度額:5,000千円
助成件数	11 件	18 件	7 件	
イ 地域資源活用型 新産業創出支援事業				
(a) 地域資源活用型 事業化実現事業				
事業規模(助成額)	19,000 千円	10,956 千円	-8,044 千円	助成率:2/3以内、助成限度額:3,000千円
助成件数	6 件	7 件	1 件	
(b) 地域ブランド 販路拡大支援事業				
事業規模(助成額)	10,000 千円	6,313 千円	-3,687 千円	助成率:2/3以内、助成限度額:5,000千円
助成件数	1 件	2 件	1 件	

事業項目	計画	実績	計画対比	摘要
ウ 加速的創業促進支援事業 事業規模(助成額) 助成件数	5,000 千円 5 件	6,264 千円 7 件	1,264 千円 2 件	助成率:2/3以内 助成限度額:1,000千円
エ 産業クラスター形成促進事業 (a) 事業シーズ可能性拡大事業 事業規模(助成額) 助成件数	11,000 千円 5 件	1,240 千円 1 件	-9,760 千円 -4 件	助成率:2/3以内 助成限度額:2,000千円
(b) 市場適応能力高度化 促進支援事業 事業規模(助成額) 助成件数	18,000 千円 8 件	0 千円 0 件	-18,000 千円 -8 件	助成率:2/3以内 助成限度額:3,000千円
(c) ブランド化促進支援事業 事業規模(助成額) 助成件数	10,000 千円 1 件	0 千円 0 件	-10,000 千円 -1 件	助成率:2/3以内 助成限度額:10,000千円
② 中小企業競争力強化促進事業				
ア マーケティング支援事業 事業規模(補助額) 補助件数	13,616 千円 5 件	11,025 千円 14 件	-2,591 千円 9 件	助成率:1/2以内 助成限度額:2,000千円
イ 産業人材育成支援事業 事業規模(補助額) 補助件数	408 千円 1 件	408 千円 1 件	0 千円 0 件	助成率:1/2以内 助成限度額:500千円(1名) 派遣日数:30日以上
ウ 産学連携等研究開発支援事業 事業規模(補助額) 補助件数	5,472 千円 1 件	5,431 千円 1 件	-41 千円 0 件	助成率:1/2以内、助成限度額:12,000 千円、助成期間:1年間
エ 市場対応型製品開発支援事業 事業規模(補助額) 補助件数	6,770 千円 1 件	3,872 千円 3 件	-2,898 千円 2 件	助成率:1/2以内 助成限度額:3,000千円
<b>(2) 重点事業</b>				
① 創業				
イ 北大連携型起業家育成施設 入居企業支援事業 インキュベーションマネージャー派遣	180 日	192 日	12 日	職員1名派遣
エ 地域応援! 女性・若者起業家 育成支援事業 セミナー&相談会開催 実践起業塾開催 アントレプレナーシップ講座	4 回 4 回 2 回	4 回 4 回 2 回	0 回 0 回 0 回	道南圏2回・十勝圏2回 道南圏2回・十勝圏2回
② 6次産業化				
ア 6次産業化支援体制整備事業 個別相談件数	1,200 件	1,375 件	175 件	
イ 北洋6次産業化応援ファンド事業 新規出資 (組合出資額)	100,000 千円	25,000 千円	-75,000 千円	出資企業数1社
③ 海外事業展開				
中小企業等外国出願支援事業 事業規模(補助額) 補助件数	13,000 千円 16 件	10,159 千円 31 件	-2,841 千円 15 件	

事業項目	計画	実績	計画対比	摘要
<b>6 その他の事業</b>				
(1) 中小企業経営資源強化対策事業 [取引拡大支援事業]				
ア ビジネスマッチング支援事業	6 回	7 回	1 回	札幌市2回、旭川市、滝川市、名寄市、 岩見沢市、帯広市
イ 受発注拡大支援事業				
(a) 発注情報収集提供				
企業登録	10 企業	2 企業	-8 企業	企業登録数 2,640件
発注案件開拓	100 件	116 件	16 件	
受発注紹介	500 件	530 件	30 件	
相談指導	980 企業	690 企業	-290 企業	専門調査員4名の勤務日数 (576日→432日)
(b) 商談会開催				
道内商談会	2 回	2 回	0 回	札幌市、函館市
道外商談会	1 回	1 回	0 回	東京都(埼玉県工場見学)
現地商談会	0 回	2 回	2 回	北見市
(2) 北海道中小企業応援ファンド事業 [展示会等出展支援事業]	5,000 千円	4,383 千円	-617 千円	
出展展示会	4 件	4 件	0 件	出展企業数14社
(3) 小規模企業者等設備貸与事業				
事業規模(割賦額)	360,000 千円	267,835 千円	-92,165 千円	(貸与の条件)
事業規模(リース額)	40,000 千円	47,055 千円	7,055 千円	割賦損料率:1.8%~2.0%
貸与件数	38 件	31 件	-7 件	リース料率(%):2.955(3年)~0.998(10年)
				期間:10年以内
				限度額:100,000千円
(4) プロフェッショナル人材センター運営事業				
(a) 相談件数				
・経営者等との面談件数	580 件	227 件	-353 件	
・見込先	120 件	82 件	-38 件	
(b) 成約件数	40 件	13 件	-27 件	
(5) 事業承継サポートネットワーク形成事業				
事業承継ネットワーク会議・セミナー	3 回	3 回	0 回	旭川市、函館市、帯広市
事業承継コーディネーター育成講座	3 回	3 回	0 回	旭川市、函館市、帯広市
(6) 業界連携による自動車・食関連機械 分野の製品開発モデル事業				
セミナー開催	1 回	1 回	0 回	札幌市
企業見学会	2 回	2 回	0 回	恵庭市・石狩市
(7) 道東の水産加工業高度化支援事業				
(a) 商品開発セミナー参加者数				
根室開催	30 名	38 名	8 名	
釧路開催	50 名	57 名	7 名	
(b) 個別相談会相談件数				
根室開催	5 件	5 件	0 件	
釧路開催	5 件	7 件	2 件	

中期運営方針の施策体系と事業との関連及び会計区分

Ⅲ 事業の概要 No.	中期運営方針 取組事業	強みを生かして				改善見直しを行い			弱みを克服し				現状維持の		重点分野・重点事業				その他	会計区分
		経営アドバイス	地域支援の強化	融資のあっせん	道等への事業提案	事業のPDCA	ワンストップフューデイト	会員サービス	自主事業の拡大	計画的な人材育成	情報発信の強化	応援ファンド	現代替策	ものづくり食産業	創業促進	6次産業化	海外事業展開			
1-(1)-①	中小企業経営資源強化対策事業 総合コーディネート事業	◎	○		○	○	○				◎								公益 I	
1-(1)-②	中小企業・小規模事業者 ワンストップ総合支援事業 (よろず支援拠点)	◎	○																公益 I	
1-(1)-③	中小企業・小規模事業者 ワンストップ総合支援事業 (ミラサポ)	◎	○																-	
1-(1)-④	設備導入等促進診断事業	◎			○	○													公益 II	
1-(1)-⑤	下請かけこみ寺事業	◎			○	○													公益 II	
1-(2)-②	北海道中小企業応援ファンド事業 [地域資源活用型ハズオン支援事業]		◎		○	○								○					公益 I	
1-(2)-③	被災中小企業施設設備 整備支援貸付事業		◎		○	○													公益 II	
1-(3)	融資あっせん事業	○		◎															-	
5-(1)-①	北海道中小企業応援ファンド事業 [公募事業]				○	○					◎		◎	○			○		公益 I	
5-(1)-②	中小企業競争力強化促進事業				○	○							◎						公益 I	
5-(2)-① ア	地域需要創造型等 起業・創業促進事業				○	○								◎			○		公益 I	
5-(2)-① イ	北大連携型企業家育成 施設入居企業支援事業				○	○								◎					公益 I	
5-(2)-① エ	地域応援！女性・若者起業家 育成支援事業				○	○								◎					収益	
5-(2)-② ア	6次産業化支援体制整備事業				○	○								○	◎				収益	
5-(2)-② イ	北洋6次産業化応援ファンド事業	○			○	○											◎		収益	
5-(2)-③	中小企業等外国出願支援事業				○	○											◎		収益	
6-(1)	中小企業経営資源強化対策事業 [取引拡大支援事業]				○	○												◎	公益 II	
6-(3)	小規模企業者等設備貸与事業				○	○												◎	公益 II	
6-(4)	プロフェッショナル 人材センター運営事業	○			○	○												◎	収益	
6-(5)	事業承継サポート ネットワーク形成事業				○	○												◎	収益	
6-(6)	業界連携による自動車・食関連機 械分野の製品開発モデル事業				○	○							◎						収益	
3-(2)	職員研修																		-	
2-(3) 3-(1)	その他事業							◎	◎										-	